

問 宍粟市の財政赤字の軽減について…

答 実情は借入金を増やさなければ何も出来ない

千原 生造 議員

問 今、市民は合併で持ち寄った借金の多さに驚いている。

1、設計などの委託料として2億3千万円近くを費やしているが、経費削減と質の向上の意味から職員でこれに対応することとは出来ないものか。

2、地方債残高の減少に努めると言われるが、12億円もの財政基金を取り崩してのやりくりである。有利に見える特例債だが返済が前提であり、次世代を苦しめることにならない様、新庁舎の建設計画を含め柔軟な対応が必要ではないか。

市長 人件費、交際費等の義務

的経費の削減については職員の意識改革として取



り組んで参ります。借入金を増やさないとというのが原則ではあるが、増やさなければ何も出来ないというのが実情である。事業の実施に当たっては将来の財政運営上の負担とならない様、借入金の抑制と合わせて財政的に有利な起債の有効活用を努めたい。

健全財政の確保を念頭に合併協議会の協議事項や新市建設計画を尊重した上、事業の必要性を総合的に検討して適切に判断して参りたい。

問 税の滞納について

答 徴収体制を検討する

田中 鶴雄 議員

問 税金の納付は国民の義務である。税が収納できないと円滑な行政が運営されない。

新市になり滞納繰越額が5億7千万余り、国保特別会計にしても2億1千万余り、今後の収納対策と体制は。

総務部長 滞納処分に対する

取組は10月を徴収強化月間とし対象者の絞込みを行い時効の中断を計りながら、電話戸別訪問等のなかで滞納者の処分を行っている。悪質滞納者が200件中35件の処分結果350万円差し押え給与や保険、還付金等320万円差し押え処分した。

徴収の人員構成は市民局担当と本庁2名、嘱託

員2名。18年度は収納向上が大きな行政課題との認識から徴収体制を充実検討する。

問 国保特別会計相当額の滞納、前年度未納があり歳入欠損がある場合歳出は予定通りこの場合赤字決算となる。一般会計から繰り入

れは。

総務部長 国保会計は単年

度会計であり赤字の場合は翌年度の歳入をくり上げ充用をもって対応したい。

問 高額滞納者の収納対策は。

総務部長 高額滞納者には市長自ら出向いて収納に努めている。

問 合併で枠組み変わったごみ施設建設の見直しを

答 合併協定どおりすすめる

山根 昇 議員

問 地球温暖化防止が世界でとりくまれ市はゼロエミッションを進めている。こうした中で、

ゴミ対策は、何でも燃やすす大型施設中心ではなく、資源の浪費や発生を抑制する。分別しリサイクルを推進することが当然の方策である。だからこそ、旧11町・西はりまの施設建設は見直すべきである。旧安富町は姫路市・旧新宮町はたつの市の施設を利用するのが当たり前である。合併で枠組みが変わったが、当面11年間は、元のままで、計画処理量を少し減らし建設を進めるとのこと。

施設規模や建設費は過大すぎ、その後のたつの・姫路市の脱退による建設費

管理運営費負担が、深刻な影響をおよぼすことは必然である。民間企業ならこんな投資は絶対しない。また処理基本計画策定は県副知事が理事長の業者に委託されている。問題はないのか。

市長 合併協定で

存続が謳われており、旧11町の枠は変わらず、あらたな確認書を結んでおります。業者のことは調べています。

問 診察窓口の縮小、

医師の退職など総合病院はどうなっているのか。

事務部長 国の制

度もあり経営も大変であるが、最善の努力をしている。